



学校だより

伸びゆく子

令和8年4月7日
横浜市立中沢小学校
4月号

桜の木を支えるのは・・・土台づくりを大切に

校長 宮路 ますみ

今年は桜が3月に開花してしまい、早い春の訪れとなりました。

この春、瀬谷区相沢小学校より校長として赴任いたしました宮路 ますみと申します。前任の川又校長先生同様、中沢小学校をより良い学校にしていくなために誠心誠意努力していく所存です。保護者の皆様、地域の皆様のお力添えをどうぞよろしくお願い致します。

桜を愛でるときには、つい花の美しさに目がいきがちですが、あの桜の美しさを支えているのは、言うまでもなく幹であり根であることを忘れてはなりません。桜の木は、地中に大変大きな根を張ることで安定を得ているそうです。あの儚げな花のイメージからは想像もできない程、ごつごつとして太いしっかりとした幹、そして根っこが存在します。

「根を大きく育てれば、きれいな花が咲き、立派な実を結ぶ。」このことを人に当てはめるならば、小学校における教育はまさに根を育てる時期に他なりません。人が生きていく上で必要な基礎的な力を育てることが責務だと認識しておりますが、根を育てるためには水や養分が必要です。この役目を果たすのが学校であり、家庭であり、地域なのだと思います。そのどれもが欠けても、根はすくすくと育たない気がします。

子どもたちの根づくりをしっかり行っていくために、中沢小学校は本年度も保護者の皆様、地域の皆様とより一層の連携を図り、子どもたちの健やかな成長を目指して、本校の教職員一丸となって頑張ってまいります。どうぞご理解・ご協力をよろしくお願い致します。